

# 五行歌会



R6陸月号

発行人・編集長

ざしきわらし

副編集長

山田 憲路

## 五行歌は、自由な言葉で、自分の呼吸で、5行で詠む

古代歌謡から発想した5行の短い詩です。自由詩です。テーマは、生活、人情、恋愛、風俗、自然、歴史、哲学……。何でもありです。全国組織「五行歌の会」(本部・東京)の草壁焔太主宰(85)が1957年に着想しました。楽しい言葉遊び!と考えてください。今すぐ誰でも詠めることが魅力です。

メンバーは、二戸、軽米、久慈の、30代から80代の、女性4人、男性5人です。五行歌の会(本部・東京)という全国組織に登録しています。全国には108のうた会があります。岩手県内のうた会は8グループです。(ざしきわらし)

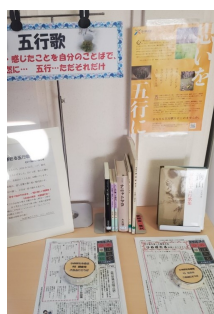
### 二戸市立図書館の階段踊り場展 2月12日まで

### ひめぼたるのうた、壁でチツカチツカ

二戸市石切所の市立図書館(施設2階)の階段踊り場壁面にひめぼたる五行歌のうたが年明けから展示されています。土屋美由紀館長のご提案で実現しました。展示は2月12日までの予定です。この通信を手にとってください。9人のメンバーのうたがともきれいに飾られて張り出されています。

左は展示されているうたの一覧です。あなたが好きになれそうなたを探してみてください。

会は毎月第4土曜日の午後、石切所の二戸中央コミュニティセンター「にこらんス」で、楽しく、まじめに「うた会」を開いています。一度覗いてみてください。



二戸市石切所の市立図書館(施設2階)の階段踊り場壁面にひめぼたる五行歌のうたが年明けから展示されています。土屋美由紀館長のご提案で実現しました。展示は2月12日までの予定です。この通信を手にとってください。9人のメンバーのうたがともきれいに飾られて張り出されています。



降る雪が  
ピンクだったら  
北の街は  
イルミネーション  
要らないね

ざしきわらし

二戸大橋を渡り終えて  
右折する  
階段をゆっくりのぼる  
広がる本の世界  
家から図書館へ「ワープ!」

ルナ

本を  
めくるように  
階段を上り下る  
踊り場に  
五行歌の葉

山田 憲路

外食後の  
子のスマホ決済  
どうも  
居心地が  
よくない

浪岡末山

ノーブランな  
休日  
コタツムリが  
二匹  
うとうと うとうと…

じーらん

赤ちゃんには  
ゆるゆるの指人形  
一緒に遊ぶ幼子は  
いつのまにか  
お兄ちゃん顔

果林子

お盆お正月の  
伝統もうすれて  
家庭の  
食べ物祭に  
なっている

忠彦

寒冷地あるある  
外から帰ると  
水道水が温かい  
型板ガラスかと  
見紛う窓霜

すばい

連日の戦争のニュース  
心がいたむ年だった  
そんな中  
世界中を明るくしてくれた  
大谷君に感謝!

水無月子

※ひめぼたる五行歌会への問い合わせ、入会申し込みは代表の果林子(0195-224880)へ。

# 12月一席は果林子、二席ルナ、三席水無月子

ひめぼたる五行歌会の第39回うた会は、12月23日、二戸市石切所のにこランスで開かれた。

今回は、新しい試みとして、非会員「覆面X」の過去作品1首を会員のうたと同列に並べ、投票対象とした。ただし、覆面Xは何点集めようと「番外」扱いとの約束。うたは10首、投票は全会員9人。不参加は、中野忠彦さん、水無月子さん、すばい殿の3人。

企画は、うた会に新たな刺激をという、ざしきわらしの一存での試み。初回は、

草壁焰太主宰のうたとした。「五行歌秀歌集2」（2011年）から選んだ。この日の参加者6人全員の同意を得られたので、覆面X企画はしばらく続ける予定。

★山田憲路うた鑑賞記  
一席の果林子さんうた。誰もが子どもの頃に秘めていた、ダイヤモンドのような純真さ。成長に伴って色褪せる前に、その輝きを永久保存。

二席のルナさんのうた。絶えずひっそりと、体の中で鳴り響いている命の音。指先で血管の弦を押さえれば、ドクンドクンと、ハートビートが聞こえてくる。

三席の水無月子さんのうた。不意を突き、つるりと足をさらう雪道を前に、転倒注意の心掛け。すばいさんのうた。二次元の絵に、ラテン語で魂を意味する「アニマ」を吹き込んだのが、アニメーション。歴史上の人物も、関心一つで動き出す。

## ダイヤの輝き／命の音ドクン／言葉を錬成／狼包囲網を

果林子  
心したこと  
転ばないように  
この冬を乗り切る！  
※以下、高ポイント。同点は◇

白鳥の飛来が  
話題にならない  
ピンクズを  
投げ与えていたところが  
なつかしい

早朝の  
コンビニは  
人と  
社会が  
つながる場所

殺されて  
なご腐臭漂うA  
巣くったBCD……Z  
意地汚い政治家たち  
選んだのは国民

浪岡末山  
コーナも  
物価高も  
落ち着いたが  
法律を作る人達の  
闇に灯るか

番外  
龍とは  
時のことではないか  
永遠の尻尾を持ちながら  
四天を  
奔り続ける

草壁焰太主宰

二席  
採血のあとを  
指で押さえる  
ドクンと伝わる感覚  
いつも思う  
今生きていると

ルナ  
車にお辞儀する  
子の純真を  
永久保存

一席  
横断歩道を  
渡り終え  
車にお辞儀する  
子の純真を  
永久保存

じぶんのうた。弱音を吐くように、自分に向って吠え立てる狼。藁から木の枝、そして煉瓦へと言葉を錬成させた今は、怖いものなど何もない。

浪岡末山さんのうた。凍てつくような川に、白く映える白鳥の姿も今は昔。沈黙の冬は、うら寂しい。

朝のコンビニは、働く人たちにとって、仕事場までの停留所。それぞれの出社時間と共に、一日が始まる。ざしきわらしさんのうた。国民の前で、志高く拳を掲

げても、結局は同じ穴の貉か。今こそ、腐敗した政治家たちを規制する、ABC D包囲網の発動を。

中野忠彦さんのうた。コロナに物価高の喧騒も、喉元過ぎれば熱さを忘れる。同じ轍を踏まぬよう、この国の暗部を照らし続ける灯火が欲しい。

番外の草壁焰太さんのうた。時は、一方だけだけに流れるにあらず。ウロボロスの如く、自らの尾を噛み、巡り巡る。

二戸の図書館で見つけました。「ボケット詩集」と「ボケット詩集II」（童話屋発行）。収録されているのは、宮沢賢治の雨ニモマケズ、茨木の子の聴く力、まど・みちおのくまさん、IIには高村光太郎の道程、谷川俊太郎の二十億光年の孤独など。どれもこれも有名なうたです。文庫本サイズで、ハードカバーなのも良いですね。

編者・田中和雄さんのまえがきが率直です。「子どもたち、詩を読みなさい。とびきり上等のいい詩を読みなさい」「ぼくたちは昔からうたがすきです。歌も唄も和歌も俳句も詩も、みんなうたです」と。五行歌が仲間外れになっ

ているのは残念ですが、同感です。「いい詩というのは、詩人が自分の思いをどこまでも深く掘り下げて普遍にまで届いた、志の高い詩のことです」。草壁焰太主宰は、深く、立体的に、と説いています。

カラフルな表紙  
可愛らしいサイズ  
装丁からして詩集だ  
図書館の書棚の  
片隅に  
ざしきわらし



ざしきわらし

ざしきわらし

※ひめぼたる五行歌会への問い合わせ、入会申し込みは代表の果林子(019-5-2240800)へ。